

農政連だより

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

9月号

No.249

主な内容

- ・第21回農政連通常総会を開催
- ・JAれいほく女性部活動報告
- ・各連合会からのお知らせ

発行/熊本県農業者政治連盟 JA 熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3 電話 096-328-1284 編集責任者 木村 幸季
発行/毎月1回 15日発行 平成9年7月4日第三種郵便物許可



「演目：十朗兵衛とお弓」

清和文楽(山都町:写真提供 清和文楽の里協会)
江戸時代の終わり頃、清和を訪れた淡路の人形芝居の一座から、村人が人形を買い求め操作を習ったのが、清和文楽の起こりだと言われている。今では「清和文楽館」で毎月第2・第4日曜日に、定期公演が行われている。

せせらぎ

「クリーンでオープンな民主党をつくり、カネにまつわる古い政治から脱却したい。」(菅直人首相)

「崩壊しつつある日本の社会を建て直し、経済再生のため国民、政治主導の政治を実現しなくてはならない。」(小沢一郎前幹事長)

民主党代表選に立候補した二人は、九月一日記者会見し、それぞれに決意を述べた。

これまで、自民党政権を含め、安倍、福田、麻生そして鳩山政権と、それぞれ一年も続かなかつた。経済大国日本が、日本政治のお粗末さを世界に晒してきた。今回、民主党政権がまた同じ轍を踏むのか世界が注目している。

更にそれ以上に、我が国経済の停滞、高齢化に伴う福祉政策の遅れに、国民は深刻な不満と不安を抱えている。こうした時だからこそ、強力な政治主導による、国民生活の安定こそが求められている。

今回の代表選では、東京、大阪、札幌で、両候補者が立会演説を行った。そして、民主党国会議員四百十一名、全国二千三百人の地方議員、三百小選挙区の党員・サポーターによる投票で合計ポイントを換算し、勝敗を決する仕組みとなっている。

投開票十四日に、民主党代表が決定するが、同時に我国の新たな総理大臣が誕生することとなる。

今、我国の経済は非常に厳しく、新卒者をはじめ、雇用不安は深刻であり、医療・介護の課題も大きい。更に、沖縄普天間基地問題、対米、対アジア外交問題等課題は山積している。

今回の代表選で、どちらが選出されようと、政府は、国民生活を守り、安心できる社会の実現に、総力を挙げて取り組んで欲しいものである。

さて、「みどりの風」が、盟友の皆さんの手元に届く頃には、新代表が決定し、新内閣が発足していることだろう。大いに期待したい。

第21回農政連通常総会を開催

生産現場の声を県政・国政へ！



▼挨拶する園田委員長



小杉県議会議長



兵谷副知事

熊本県農政連は8月23日、経済連7Fホールにおいて、第21回通常総会を開催しました。

当日は、農政連委員、県内各総支部の代議員等関係者120名余の出席のもと、安武副委員長の開会宣言で幕を開けました。

まず、主催者の園田委員長は、「先の参議選で民主党が大敗し、『ねじれ国会』となる中で、来年度予算の編成作業は難航必至であり、本県農業への影響も懸念される。」したがって、「生産現場の声を県政・国政に反映させるために、強力な要請運動を展開するとともに、全国の農政連との連携の下に、農政連組織・活動強化に取り組んでいく。」また、「次世代に豊かなみどり・環境を残すために県内の環境保全活動にも取り組んでいく。」と挨拶しました。

続いて、来賓として出席された兵谷芳康副知事、小杉直県議会議長が祝辞を述べられました。また、農政議員連盟会長の前川収氏にも、ご出席いただきました。

そして、昨年に引き続き議長に選任された、JA本渡五和の蓮池組合長により議事が進行されました。議案は、第1号議案「平成21年度事業報告並びに収支決算書承認について」、第2号議案「平成22年度事業計画並びに収支予算書（案）承認について」、第3号議案「平成22年度会費の額並びに徴収方法について」、第4号議案「役員の補欠選任について」が提案され、全議案ともに満場一致で可決承認されました。

なお、第1号議案及び第2号議案の概要については、P・(3)(4)に掲載しています。また、第3号議案の会費の額は、前年度と同額の会員一人当たり1,000円（うち、県連盟会費は450円）です。最後に、安武副委員長の閉会の挨拶で、終了しました。

選任された新役員は、特産部会代表の廣田和博氏です。



▲出席した代議員

平成21年度の事業報告

1. 主な活動内容

- (1) WTO 農業交渉・FTA 交渉対策
 - ・WTO 農業交渉の日本提案の実現と FTA 阻止を求めて、集会への参加や要請活動等を実施した。
- (2) 食の安全・安心と農業への理解促進運動
 - ・広く県民に農業への理解促進を図るため「みんなのよい食・地産地消」キャラバン活動等を実施した。
- (3) 「食料・農業・農村基本計画」への対応
 - ・本県 JA グループの意志を結集し国内対策の充実等、必要な政策提言・予算要望活動を展開した。
- (4) 米穀・畜産・酪農・野菜・果樹・特産政策、価格対策
 - ・生産者代表の意見・要望を集約し、その実現に向けて、国・県等に対し要請活動を展開した。
- (5) 平成 22 年度農業予算及び農業政策関連に関する要請活動
 - ・平成 22 年度の国並びに県の農業予算及び農業政策関連に関する要請活動を展開した。
- (6) 農村環境美化・資源環境保全運動
 - ・「熊本みどり・食・環境基金」を設立すると共に、ゴミ投げ捨て防止の看板設置や水と緑を守るための植樹活動を実施した。
- (7) 広報対策活動
 - ・農政連情報誌「みどりの風」を毎月 11 万 4 千部発行し、会員並びに関係団体へ情報提供を行った。
- (8) 選挙対策活動
 - ・第 45 回衆議院議員総選挙(8 月)では、立候補者の中から 2 名の公認と 3 名の推薦を行った結果、公認候補者 2 名・推薦候補者(比例)1 名の当選を果たした。

2. 平成 21 年度収支決算書 (平成 21 年 4 月 1 日より平成 22 年 3 月 31 日まで)

(1) 収入 (単位：円)

(項目)	(収入済額)	(備考)
拠出金	40,511,700	県連盟会費 450 円のみ計上
事業・広報業務受託料	27,500,000	3 連の業務受託料、4 連の機関紙発行に係る広報受託料
雑収入	16,033	預金利息
前年度繰越金	11,724,114	
合計	79,751,847	

(2) 支出 (単位：円)

(項目)	(支出済額)	(備考)
組織整備費	4,066,755	県青協・女性協への助成金、生産者部会会議、農政連活動啓発等
農政活動費	4,985,611	基本農政確立、全国集会、農政学習会、農政リーダー研修会等
農業再建対策費	506,457	WTO 対策運動費
広報活動費	9,593,821	「みどりの風」発行費、ホームページ運営費等
役員手当	80,000	役員手当
給料手当	24,877,684	職員給与
福利厚生費	4,401,648	社会保険料、労働保険料
旅費交通費	976,657	委員旅費、職員出張旅費、市内外交通費
事務費	1,000,926	電話代、発送料、印刷代、コピー代、事務用品代、新聞代等
会議費	1,094,075	総会費、委員会費、JA 事務局長会議費等
渉外費	525,260	慶弔見舞金、レタックス代等
施設費	1,567,240	パソコンリース代、事務所費、駐車場代、公用車維持費、ガソリン代等
支払負担金	1,000,000	全国農政協会費
雑費	72,365	為替手数料等
みどり環境基金繰入	5,000,000	「熊本みどり・食・環境基金」会計への繰入
農政特別基金繰入	5,000,000	「農政特別対策基金」会計への繰入
予備費	0	
合計	64,748,499	

(3) 決算残余金

収入済額 79,751,847 円－支出済額 64,748,499 円＝15,003,348 円を次年度に繰越

平成22年度の事業計画

1. 主な活動内容

- (1) 地域農政の確立と政策・価格対策運動の展開
 - ①国・県・市町村の農業関連政策・予算対策
 - ②農畜産物政策・価格対策
 - ③「食料・農業・農村基本計画」の策定への対応
- (2) 課題別農政対策の強化
 - ①WTO・EPA等の交渉対策
 - ②地域農政確立運動の強化
 - ③畜産農家への支援体制の強化と県内畜産の振興
 - ④食農教育の展開
- (3) 農政推進体制及び情報活動の強化
 - ①全戸加入運動の展開
 - ②青壮年部、女性部等の加入促進
 - ③総支部・支部及び県連盟の活動の活性化と組織体制の強化
 - ④国政、県政選挙への取組み
 - ⑤「みどりの風」の編集・発行とホームページによる情報の提供
- (4) 「熊本みどり・食・環境基金」活動の積極的な展開
 - ①「熊本みどり・食・環境基金」の充実・強化
 - ②環境基金運営審議会の開催による多様な事業の展開
 - ③農業・農村及び自然環境を守るためのJAグループを挙げた運動への取組み
 - ④「協同の森」の造成・整備

2. 平成22年度収支予算書 (平成22年4月1日より平成23年3月31日まで)

(1) 収入

(単位：千円)

(項目)	(予算額)	(備考)
拠出金	42,812	県連盟会費 450 円のみ計上
事業・広報業務受託料	27,500	3連の業務受託料、4連の機関紙発行に係る広報受託料
雑収入	16	預金利息
前年度繰越金	15,003	
合計	85,331	

(2) 支出

(単位：千円)

(項目)	(予算額)	(備考)
組織整備費	7,130	県青協・女性協等への助成金、生産者部会会議、支部活動強化等
農政活動費	7,590	基本計画対策、品目別対策、食農教育、農政リーダー研修会等
農業再建対策費	3,220	WTO・EPA 対策運動、農業・農村を守る運動
広報活動費	11,791	「みどりの風」発行費、ホームページ運営費等
役員手当	160	役員手当
給料手当	28,000	職員給与
福利厚生費	6,300	社会保険料、労働保険料
旅費交通費	2,020	委員旅費、職員出張旅費、市内外交通費
事務費	1,500	電話代、発送料、印刷代、コピー代、事務用品代、新聞代等
会議費	2,440	総会費、委員会費、JA 事務局長会議費等
渉外費	960	慶弔見舞金、レタックス代等
施設費	2,290	パソコンリース代、事務所費、駐車場代、公用車維持費、ガソリン代等
支払負担金	1,000	全国農政協会費
雑費	400	為替手数料等
みどり環境基金繰入	5,000	「熊本みどり・食・環境基金」会計への繰入
農政特別基金繰入	5,000	「農政特別対策基金」会計への繰入
予備費	530	
合計	85,331	

女性部活動報告

■ JAれいほく女性部 ■

JAれいほく女性部は、坂瀬川、志岐、富岡、都呂々の4支部からなり、小野三幸部長を中心に現在216名の部員で活動しています。

今後の活動として、目的グループやグループ活動の立ち上げを考えています。最近は地区での自主活動が増えてきており、これを機に部員の増加へつなげたいと思っています。以下、活動の一部を紹介します。

「食と農を守るふるさとの味交換会」…地元食材を使った料理を紹介…

2月下旬、農構センターにおいて、地元で採れた食材を使った料理を持ち寄って試食する、「食と農を守るふるさとの味交換会」を開催しました。

地産地消の促進や郷土料理の良さを知ってもらおうと、情報交換を目的に毎年行っています。会場のテーブルには約65品がずらりと並び、参加者はお互いに調理法などを教え合い、試食しながら話が弾み、楽しみました。



▲おしゃれサラダポテト



▲よもぎ饅頭



「海岸清掃ボランティアを実施」

私たち女性部は2月と6月の年2回、天然記念物の花が咲く頃に、部員と町内企業や行政・中高生協力の協力を得ながら、海岸清掃を行っています。

2月には、富岡の曲崎海岸一帯の清掃を行いました。この日は、約180人の参加で午前8時から開始。発砲スチロール、ビニール袋、ペットボトル、坑木や大木など他にも色んな物が漂流していました。開始後1時間30分足らずの間に、収集したゴミが山のように集まり、みんな「きれいになったねー」と言いながら解散しました。



「絵手紙教室」

1月に都呂々支部において、絵手紙教室を開催（月1回）しました。

皆さん初めての絵手紙で、最初は緊張し、思うようには書けませんでした。しかし、今では皆さん大変上達していて、11月に行われる町のイベントや女性部のイベントにも、作品を出品すると張りきっています。

練習した作品は、支所の窓口に常時展示しています。



…… J A 中央会 ……

トマト収穫など体験

～あぐりんツアー「夏休み農業宿泊体験」～

J A 熊本中央会は8月18日・19日の2日間、「夏だ、元氣だ、集まれアグリ」の好きなキッズたち「あぐりんツアー」夏休み農業宿泊体験」を、J A かみましき管内の山都町で開きました。一般応募で選ばれた県内の小学生・保護者等48人が参加。

これは、農業体験を通して農産物や農業施設等を学習し、農業・農村の実態や課題について総合学習を行うことが目的で、宿泊体験は2回目です。

初日は、まず、J A かみましき清和支所の佐藤章担当理事が「山都町の清和地区農業、特に安全・安心な高冷地トマトなどしっかり学んで下さい」と挨拶しました。

トマト収穫では、生産農家の荒木孝夫さんのハウスを訪れ、高冷地を活かした栽培方法や収穫方法を学び、全員で収穫作業を行いました。参加者は「こんなに安全・安心な栽培が行われているとは知らなかった。とてもうれしい」と感激していました。

昼食は、J A 女性部の手作り弁当。こ

こ



▲収穫前、トマト栽培について真剣に学ぶ参加者

のあとトマト選果場の見学、ブルーベリーの収穫体験、地産地消バーベキュー大会、花火大会の後、清和高原天文台で星を観察しました。

2日目は、地元の農業者によるカブトムシ学習会を開き、全員にプレゼント。そのあとは地域農業に貢献している、通潤橋の歴史的作用や放水を見学しました。

熊本県農協口蹄疫対策本部が解散

熊本県農協口蹄疫対策本部は8月17日、熊本市で第5回対策本部委員会を開催しました。対策本部委員や関係者ら30名が出席し、熊本県における農協口蹄疫対策本部の解散と、今後の要請活動の継続等を確認しました。

7月27日に、宮崎県の全域で制限区域が解除。併せて、出されていた宮崎県における「非常事態宣言」も解除されたことをうけ、本県における農協口蹄疫対策本部を解散しました。しかし、宮崎県におけるふん尿等の処理が完了しておらず、依然として予断を許さない状況です。生産農家や畜産関係施設等における防疫対策の指導・徹底が必要と要請です。

園田俊宏対策本部委員長（J A 熊本中央会会長）は、「今後も引き続き、国・県等に対し、防疫対策に取り組み農家や関係団体に対する早急な支援の実施、さらには口蹄疫が終息した後の経営安定対策などを要請していく必要がある」と挨拶しました。

…… J A 経済連 ……

夏秋野菜消費宣伝会

J A グループ熊本と県青果物消費拡大協議会、社団法人県野菜振興協会は、8月31日、「野菜の日」に合わせて、熊日びぶれす広場で夏秋野菜消費宣伝会を開きました。

熊本県産のナスやトマト、キャベツ、ミニトマト、きゅうりや大根など11品目の旬の野菜を集め、即売。また2人分（700g）の野菜詰合せセットを100円で販売し、多くの買い物客が詰め掛けました。

今年は、生産者による冷やしトマトやきゅうりの試食・販売も行い、生産者と消費者の大切なふれあいの機会となりました。また、R K K ラジオの生放送の番組内で、野菜セットを10名にプレゼントしました。

県産野菜のPRと販売促進を図り、産地参加の対面販売による消費宣伝と野菜1日350g摂取運動がねらい。会場に訪れた買い物客からは、「県産野菜だから新鮮で安心しておいしく食べられる」と大好評でした。

同協議会は、ホームページをリニューアルし、生産者の思いや努



▲大勢の来場客でにぎわった宣伝会

力・生産部会女性部による野菜レシピも公開しており、熊本県の野菜・生産者についてのさまざまな情報の発信を行っています。

熊本県産黒毛和牛 香港の高級ホテルのレストランを指定店へ

香港の高級ホテル「カオルーン シヤングリラ」内の中華レストラン「シヤンパレス」において、熊本県産「くまもと黒毛和牛」を、8月1日から取り扱いを開始しました。熊本県農畜産物輸出促進協議会が香港で行ったレセプションには、上村幸男同協議会会長（経済連会長）をはじめ、同協議会やJ A から参加。

上村会長は、「最高級のレストラン『シヤンパレス』にて、『くまもと黒毛和牛』を取り扱って頂くことを誇りに思うと共に、今後も最上級の『くまもと黒毛和牛』を香港にお届けしたい」とあいさつ。県産牛の高級ホテルのレストランへのプロモーションを行い、好評を得ました。

「シヤンパレス」は、「くまもと黒毛和牛」をブランドメニュー以外に、今後、2カ月間のフェアにも採用。同協議会では、牛肉に限らず年間数回にわたり、県産農畜産物のプロモーションを行っており、昨年は4回のくまもと黒毛和牛フェアを実施しました。

また、レセプション会場には、「くまもと黒毛和牛」のほか、熊本のミニトマト・梨・「J」ボンゼリー等の試食も行い、本県農畜産物のPRを行いました。

もしものとき8か月間無料で使える！

JA 共済の仮設住宅

JA 共済では、加入者への「ひと・いえ・くるま」の総合保障による安心の提供とあわせ、生活を支援するためのさまざまな福祉サービスを行っています。

この福祉サービスの一環として、火災や自然災害により住宅に居住できない

くなった場合、JA 共済の「仮設住宅」を8か月間無料で貸し出し、被災者家族の当面の住まいと暮らしを支援しています。

住宅のタイプは、4坪、6坪、8坪の3つ。キッチン、トイレ、お風呂など生活に必要なものはあらかじめ備わっているので安心です。JA の生命・建物共済等にご契約の皆さまならご自宅でもご利用いただけます（ただし、一定の要件を満たす方に限ります）。詳しくは、JA 窓口までお尋ねください。

応急住宅のご利用について

〈ご利用できる方〉

JA 共済の生命総合共済契約者、建物更生共済契約者、火災共済契約者

〈ご利用条件〉

- ①利用者が所有し自己の居住の用に供する住宅が、火災等または自然災害により、居住できなくなった場合（原則として損害割合 50%以上）で、ただちに修理・再建築を行うこと。
- ②被災後、30 日以内に利用の申し込みを行うこと。

〈応急住宅に含まれるもの〉

- ・置
- ・網戸
- ・簡易トイレ
- ・キッチン
- ・風呂
- ・天井パネル
- ・照明、コンセント



◀フラットタイプ



ユニットタイプ▶

★詳細はJA の窓口へお尋ねください。

- ◆応急住宅は提携している大和リースから提供します。
- ◆無料利用期間後も延長してご利用できます。（延長料は利用者負担となります）
- ◆水道・電気工事費、水道光熱費等およびオプションなど標準仕様以外の装備費等、建築確認申請に伴う各種調査費用等は利用者負担になります。

コラム 食と農

みなさんは「みんなのよい食プロジェクト」のウェブサイトをご存知ですか。アドレスは、<http://www.yoi-shoku.jp/> です。

今回は、「みんなのよい食プロジェクト」ウェブサイトの、主なコーナーをご紹介します。

■「よい食」サポーター会員登録

会員登録をしていただいたサポーターの方は、サイト内で毎月行っている「みんなの『よい食』宣言」に投稿していただけるようになります。

また、サポーターの方には、毎月 25 日に登録していただいたアドレスに「旬の『よい食』ニュース」が届きます。「みんなのよい食プロジェクト」にかかわるイベントやテレビ放送の情報とあわせ、料理研究家の本谷恵津子先生が、「みんなのよい食子育てごはんエブリデイ」と題して、気持ちがふつと楽になるメッセージと、旬の食材を中心としたレシピをお届けします。

■みんなの『よい食』宣言

テーマごとに、「よい食」として皆さんが行っていることを宣言し、投稿していただきます。「宣言」

を自分自身の「よい食」の行動のきっかけにしながら、他の人の「宣言」から気づきを得ることも多いと思います。

サポーターに登録いただいた方なら、だれでも「宣言」を投稿いただけます！

毎月 25 日前後から翌月の 15 日までが投稿期間。それに対して「私もやってみる」という投票をいただく期間が、翌月の 25 日からその翌々月の 15 日までです。

■知って得する『よい食』ドリル

「知って得する『よい食』ドリル」のコーナーは、5月に始まった新しいコーナーです。

健康・元気、美容、礼儀・行儀など、食にまつわるさまざまなテーマの問題を解いていくことで、楽しみながら『よい食』の知識を得ることができます。

現在は、「社会人によい食」と「宴によい食」のドリルが用意されています。

■『よい食』インフォーマーシャル

「『よい食』インフォーマーシャル」のコーナーでは、毎週土曜日午前 8:30 ~ 9:55 に関西テレビ・フジテレビ系列で放送されている、「にじいろジーン」のなかの『よい食』インフォーマーシャルを放送しています。

……JA厚生連……

「心の健康」について

職場で心の不調を訴える人は年々増えており、心の健康づくりがますます重要になっていきます。社会生活を送る以上、ストレスを完全になくすることはできませんが、ストレスに直面したときの対処法を知り、ストレスと上手につきあつていくことが大切です。

あなたは自分自身の心のサインに気付いていますか？

- 朝の目覚めが悪い
- ささいなことでイライラする
- 仕事を手につかない
- 最近、酒の量が増えた

といった、症状や状況が続いてつらいと感じる時には、心の不調をきたしている可能性があります。

心の病気にかかつていても、本人が気付かない場合も多いので、周囲の人の気付きも大切になります。心の不調は、人間関係の悪化や勤務態度にあらわれます。誰かの心のサインに気付いたら声をかけてみましょう。

心の不調に気付いたら、まず誰かに相談しましょう。苦しいとき、つらいときは家族や友人に話してみるだけでも、少しほっとできたり、自分では気付かなかつた問題点を見つけたりすることもできます。また、ストレスのある生活から離れ、休養をとることも有効です。一定期間、仕事から離れて心

身を休め、睡眠を十分にとり、リラックスして過ごすことだけに意欲が戻ってくるでしょう。仕事などに支障が出るほどつらい状況が続くようでしたら、医療機関の受診も考えてみましょう。

ストレス対策の3原則は、

- ① 逃げない
- ② ためない
- ③ 隠さない

ことです。ストレスに対して、逃げるのではなくためないことが重要です。

ストレスは、ためなければ問題ありません。その日のストレスはその日のうちに解消することが大切です。また、周囲に自分を支えてくれる人がいれば、心強いただけでなく、相談することでストレスを隠さずにすみます。

人は、人との関係の中で支えあい、支えてもらって生活しているということに気付く、人とのつながりを大切にしていきたいでしょう。



JA共済

新 **JAの医療共済**

詳しくは、お近くのJA（農協）へお問い合わせください。
 ■ホームページアドレス
<http://www.ja-kyosai.or.jp>

サンキューふれあいキャンペーン実施中！
<http://www.3qja.jp>

10481050158

安心を選んで組み合わせる新しい医療保障です。

ときめき、奏でる三重奏。

食うぞ。まるごと。もりもりと!!!

熊本県産地産地消 **冷凍米飯**

愛運動

平燕風炒飯
 火の国炒飯
 冷風炒飯

KURA MOTO

JAグループ熊本
 冷凍米飯愛運動推進本部
 くまもと売れる米づくりに推進本部

水の恵みと大地の香り

あとがき

●モズ（百舌、百舌鳥）
 スズメ目モズ科の鳥、大阪府の府鳥。



全長は20cm前後で、頭は大きく尾が長いのが特徴。食性は肉食性である。百舌という和名は、様々な鳥の鳴き声を真似ることに由来している。かぎ状に曲がった嘴を持つており、樹木などの高所から昆虫、両生類、小型の鳥類等の獲物を見つけ、捕らえて樹上に運んで食べる。時に、捕獲した獲物をすぐ食べずに、木の枝に突き刺したり枝股に挟んで置いたりする習性がある。この行為を、モズの「はやにえ（早贖）」という。

モズ鳴くやむら雨かわくうしろ道（一茶）

●盟友の皆様のご意見や周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連
 電話 096-3288-1284
 FAX 096-326-5807